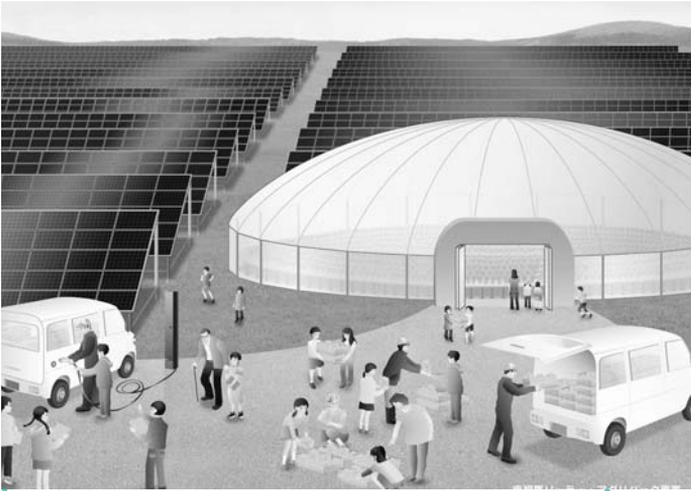


# 復興レポート

今月号では、建設着工した「南相馬ソーラー・アグリパーク」の概要、仮置場の種類、旧警戒区域内の津波で被災した車両等の撤去についてお知らせします。



▲南相馬ソーラー・アグリパーク イメージ図

## 植物工場での野菜生産

直径約30メートル、高さ約6・5メートルのエアドーム型の植物工場2棟を設置し、リーフレタスなどの葉物野菜を生産します。

野菜は、閉鎖されたエアドーム内の円形水槽で、土を使わず水耕栽培で生産されます。

## 太陽光発電所での発電と体験学習

太陽光パネル約2,000枚を設置し、一般家庭約170世帯分(500キロワット)に相当する発電を行います。また、子供たちの体験学習として、太陽光パネルの操作や電気自動車などに充電する体験などができます。



南相馬市と福島復興ソーラー株式会社は、原町区泉地内の津波被災地約2・4ヘクタールに「ドーム型植物工場」と「太陽光発電所」を建設する工事に着工しました。この植物工場では、地元の農業法人泉ニューワールドが野菜の生産を行います。

また、植物工場と太陽光発電所を使った地元の子供たちの体験学習プログラムや全国の人たちとの交流などの企画・運営は、社団法人福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会が行います。

完成は平成25年3月を予定しています。

【問合せ】 經濟部農林放射線対策課

☎ 245299

南相馬市の復興に向かって

# 南相馬ソーラー！ アグリパーク建設着工！

## 植物工場のイメージ写真



▲ドーム型の外観



▲円形の水槽で栽培します

## 仮置場は大きく分けて2種類

# 安全に管理されます

# 除染廃棄物と災害廃棄物

大きく分けて2種類ある仮置場は、その性質が異なります。すべて安全に管理される2つの仮置場の違いをご紹介します。

## 除染廃棄物 仮置場とは

除染廃棄物仮置場は、建物や道路、公園、農地、屋敷林などの除染に伴い発生した廃棄物（土壌・草木・ごみ等）を集積し、中間貯蔵施設が完成するまでの間、安全に保管する場所をいいます。

この仮置場は、除染廃棄物を安全に保管するための対策を詳細に定めている国の「除染関係ガイドライン」に基づいて工事を行い設置します。

## 災害廃棄物 仮置場とは

災害廃棄物仮置場は、震災の地震や津波などで発生した



廃棄物を集積して保管する場所をいい、前述の除染廃棄物仮置場とは異なります。

旧警戒区域外に7か所設けている災害廃棄物仮置場には、11月末現在で津波堆積物を含む約108万2千トンが保管されており、コンクリートや木材などの種類ごとに分類して可能な限りリサイクルを行い、最終的に処分する容量を減らします。

また、空間線量測定や排水水質検査、害虫発生の防止などの対策も講じています。

なお、旧警戒区域内の災害廃棄物仮置場は、環境省が4か所設置に当たっています。

## 農地の除染は一時集積所へ

農業生産の早期再開のため、仮置場が決まるまでの間、農業用水路の土壌や草木などの除去土壌等を一時的に集積して安全に保管する場所をいいます。

集められる除去土壌等は大型土のう袋に入れ、遮水シートで雨水の浸入を遮断し、放射性物質の影響を受けない状態で管理します。

なお、集められた除去土壌等は、仮置場が決まり次第、仮置場に運んで管理します。

## 被災車両の撤去・処分 手続き開始

環境省では、旧警戒区域の津波等で被災した車両、農機具、重機等の撤去・処分作業を開始しました。

### 《処理の流れ》

#### ①被災車両等の調査

環境省から委託を受けた業者が、旧警戒区域内にある被災車両等の調査を実施します。調査が済んだ被災車両等には識別するチラシを掲示します。

#### ②所有者への意向調査

調査によって所有者が特定できた被災車両等は、所有者

へ撤去・処分に同意されるか意向を調査する書類をお送りします。撤去・処分を希望する場合は、必要書類を提出ください。

※所有者が不明な被災車両にはチラシを掲示し、所有者を探します。一定期間連絡が無い場合は、国が撤去を予定しています。

#### ③撤去・処分の処理

撤去・処分に同意いただいた被災車両は、順次処理を行い、処分費用はかかりません。※車両等が行方不明になった方や知人の被災車両等にご心あたりがある方は、情報の提供をお願いします。

#### 【問合せ】

福島環境再生事務所  
浜通り北支所 ☎ 9912  
委託業者 株式会社  
☎ 0804



凄まじい津波の力で原型を留めず放置状態の被害車両（小高区岡田）